

平2-80318  
公開案用新案公報 (U)

⑥Int. Cl. 5 ⑥公開 平成2年(1990)6月20日  
G 11 B 7/125 7/135 識別番号 A7  
序内整理番号 8847-5D  
8847-5D

審査請求 未請求項の数 4 (全3頁)

卷之三

②実 順 昭63-157335

東京都板橋区前野町2丁目36番9号 旭光学株式会社  
俊島著者案考参考

東京都板橋区前野町2丁目36番9号 旭光学工業株式会社  
功 田 奥 者 案 考 参 考 案 者 奥 田 功

東京都板橋区前野町2丁目36番9号 旭光学工業株式会社  
内 田 森 者 案 考 考 者

出題人 旭光李王株式会社 〒236番地 9号

卷之三

卷二

レーザ光源からのレーザ光を光路分割要素を介して光ディスク情報面に照射して情報を記録すると共に、該光ディスク情報面からの反射光を前記光路分割要素にて回曲させて半反射プリズムに、当該全反射プリズムを固定する為の取付部を一体形成したこと、を特徴とする請求項11記載の光学式情報記録・再生装置の光ヘリ<sup>11</sup>構成。

図面の簡単な説明 第1図は本考案に係る光学式情報記録・再生装置の光学式情報記録装置であつて、レーザ光源から出射され前に光路分割装置によって屈曲されて当該光路分割装置の光路分割素子から外部に出射するレーザ光を、光学プラズマスチックにより形成された全反射プリズムによってモニタ光検出器に導き、該モニタ光検出器によってモニタ光を反射させてモニタ光検出器によるレーザ光検出出力により前記レーザ光源の出力制御を行なうよう構成した。第2図はモニタ光検出器によるレーザ光検出出力により前記レーザ光源の出力制御を行なうよう構成した。第3図はモニタ光検出器によるレーザ光検出出力により前記レーザ光源の出力制御を行なうよう構成した。第4図はモニタ光検出器によるレーザ光検出出力により前記レーザ光源の出力制御を行なうよう構成した。第5図はモニタ光検出器によるレーザ光検出出力により前記レーザ光源の出力制御を行なうよう構成した。

上記光学プラズチックにより形成された全反射対射プリズムの光学面のうち少なくとも一面を凸面に形成し、該全反射プリズムに前記レーザ光を斜めに射入する構成の集光効果を持たせたこと、を特徴とする請求項11記載の光学式情報記録・再生装置の光ヘッド構造。

上記光学プラズチックにより形成された全反射対射プリズムに、上記モニタ光検出器位置決め部を一体形成したこと、を特徴とする請求項1記載の光学式情報記録・再生装置の光ヘッド構造。

卷二

四

A schematic diagram of a valve assembly. It features a handle on the left connected by a rod to a valve body. The valve body contains a circular component labeled 'G'. A curved line labeled 'A' points to the right side of the valve body.

四  
六  
六

-11C

12

圖 2 第

第5図

